

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493200107	事業の開始年月日	平成19年6月
		指定年月日	平成19年6月
法人名	社会福祉法人 幸済会		
事業所名	高齢者グループホーム かわしまの里		
所在地	(〒241-0011) 横浜市旭区川島町1882-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和5年2月	評価結果 市町村受理日	令和5年6月26日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

協力診療所に体調面の変化がある方など、情報を送り日々の健康管理に力を入れております。また、受診に関しても施設職員で対応する事が多く、早い対応やご家族様の負担軽減に繋がっているかと思えます。コロナ禍でここ数年は思う様に外出は出来ませんが、本来は行事が多く、季節ごとの施設内行事の他にも、法人全体での行事（旅行やお祭り）など種類は豊富です。施設周辺の環境では目の前に大きな公園があり、散歩や外気浴など気分転換を図るのに最適な環境です。コロナ流行前は公園で行われる夏祭りや地域のボランティアさんなどを通じ、地域の方との交流もございました。サービスとしては共用型デイサービスや緊急時ショートステイも行っている為、GHの利用者・DS/S Sの利用者が交流する事もあり、良い刺激になっていると思えます。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	令和5年3月30日	評価機関 評価決定日	令和5年6月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所の概要】
事業所は、相鉄線鶴ヶ峰駅から徒歩12分程に立地している。木造2階建て、2ユニットのグループホームの目前には、緑豊かな公園や近隣には病院や小学校がある。コロナ禍で思うような地域の活動が行えなかったが、町内の獅子舞や保育園児の来所が叶うようになり、従来から取り組んでいた町内会や地域ケアプラザ等と連携した地域交流の再開が待ち望まれる。近隣に同一法人の特別養護老人ホームがあり、法人主催の委員会活動やバーベキュー大会などの行事に参加している。

【併設事業利用者との交流による相乗効果】
ショートステイと共用型のデイサービスをコロナ過においても継続して運営しており、ショートステイやデイサービスの利用者は、事業所の職員や利用者とは交流している。その中には、雰囲気を楽しみながら空気を待ってグループホームに入所する方もいる。日々の交流を重ね、双方の事業所の利用間に顔なじみの関係が築かれ、良い刺激を受け合っており、相乗効果をもたらしている。

【市町村との連携】
横浜市健康福祉局介護事業指導課に、介護保険の手続きなどの相談をしている。今年度は、抗原検査キットの支給などでも支援を得ている。生活支援課の職員に、共同生活が保てない行動が続く生活保護費を受給している利用者についての相談をしている。また、区の担当職員から「後見人の導入が必要なのでは」との提案があった利用者についても意見交換している。地域包括支援センター主催の高齢者福祉入居施設連絡会に参加し、小規模多機能型居宅介護事業所などの職員と意見交換している。

【利用開始前からの生活の継続支援】
入居時のアセスメントや家族からの情報で、利用者の生活歴や馴染みの関係を把握している。コロナ禍で、友人などの訪問はないが、電話や手紙の取次ぎ支援を行っている。医師の許可の下、喫煙や飲酒を嗜む方のほか、毎日、珈琲を愛飲する方や新聞を読む方など、利用者個々が従前の生活習慣を継続できるよう支援している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	高齢者グループホーム かわしまの里
ユニット名	一茶

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「慣れ親しんだ地域で、家族や地域との交流を通しながら、家庭的な雰囲気の中でゆっくり、一緒に楽しく過ごして頂く」という理念を中心にご利用者のペースで生活が行える様意識していますが、コロナ禍で家族や地域との交流は少ないのが現状です。	法人の理念「温かい心・冷たい頭・優れた技能」を事業所の理念としている。この理念と「ゆっくり、一緒に、楽しく過ごして頂く」という趣旨の援助方針を事務所内に掲示し周知している。職員は、理念や援助方針に基づき、利用者に「今日1日楽しかった」と思ってもらえる介護を念頭に置いて、サービスを提供している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の方が、敬老のお祝いを持って来て下さったり、近隣保育園の児童達が駐車場で季節の唄を披露して下さいました。また正月には駐車場で町内獅子舞が来所して下さいました。	笠町内会に加入し、地域の情報を得ている。コロナ禍で散歩の時に挨拶を交わすこともままならなかったが、感染状況が落ち着いた際には、町内会の方が敬老のお祝い品を届けてくれたり、正月には獅子舞が来所し、交流している。また、近隣の保育園児が訪れ、ダンスを披露してくれた。現在、マンダリンのボランティアや中学校の生徒の受入れは中断している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ前は、アルツハイマーデイや物忘れ確認テストなど、啓発活動を行っていましたが、ここ数年はあまり行えておりません。		

4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>概ね2か月に1度、書面での推進会議を実施しておりますが、コロナ禍での施設生活の現状の報告が中心となっております。</p>	<p>運営推進会議は、家族代表、地域住民代表、地域包括支援センターの職員、事業所の職員をメンバーとして、概ね奇数月に開催している。コロナ禍の今年度は、書面開催している。事業所では、開催報告書をメンバーに郵送する際に返信用封筒を同封して、意見や質問を受け付けている。ねぎらいの言葉はあるが、特段の意見などは寄せられていない。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>コロナ禍の為あまり行えていません。</p>	<p>市の健康福祉局介護事業指導課に介護保険の手続きなどの相談をしている。今年度は、抗原検査キットの支給などの支援を得ている。生活支援課の職員に共同生活が保てない行動が続く生活保護費を受給している利用者について、相談している。また、区の担当職員から「後見人の導入が必要なのでは」との提案があった利用者についても意見交換をしている。地域包括支援センター主催の高齢者福祉入居施設連絡会に参加し、意見交換している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除の理念を掲げ、委員会での内容を活用しながら、身体拘束ゼロへ取り組んでおります。玄関や居室窓などは、防犯の観点から、ご家族様にご理解を頂きながら、施錠を行っております。	指針「身体拘束排除の理念」を定め、身体的拘束・虐待防止委員会を年4回、身体拘束・虐待防止研修を年2回開催している。委員会は、不適切なケアや虐待のニュースなどを提供し、事業所内で共有し環境を整えることを目指しています。また、虐待を含んだ事例検討の研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている	委員会を通じて、職員個々に不適切なケアが無いか、定期的に振り返って頂いています。ニュースなどで取り上げられるものに関しても周知をし、随時学ぶ機会を設けています。	身体的拘束・虐待防止委員会を年4回、身体拘束・虐待防止研修を年2回開催している。「高齢者虐待防止の基本」マニュアルを整え、職員は、虐待防止の自己評価を行い、虐待に気付いたら通報義務がある事なども含め振り返っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	単身の方でも、後見人が付く様に行政の方と相談しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には、基本的に施設見学をして頂き、サービスや料金についての説明をさせて頂いております。その際に、不安な点や分からない事を必ず伺い、その上で契約を通し、再度丁寧に説明する事を心掛けております。契約書・重要事項説明書の雛形も窓口に配置し、自由に目を通せる様にしております。		

10	7	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>月に1度担当職員がご利用者様本人に意向を伺う様にしておりません。ご意見箱の設置を行っておりますが、活かさきれていない現状があります。</p>	<p>利用者の意見は、毎月担当職員が聞き取り、反映に努めている。毎月の請求書送付時に一筆添えて、家族等に利用者の様子を伝えている。また、2ヶ月に1回「さとだより」を発行・送付している。家族の意見や要望は、来所時や電話連絡、LINEのやり取りなどで把握している。家族から「駐車場に家族が集まるので、2階から利用者の顔を見せて声をきかせてほしい。」という要望があり、携帯電話を活用して希望に応じている。</p>	
----	---	--	---	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者からの意見や情報の発信は多くありますが、職員からの提案という部分では日々の申し送り時などが中心となっております。ただし、日常的に意見や相談しやすい環境は設けております。	職員の意見、提案は、管理者が、日々の会話や申し送りで聞き出している。管理者は相談しやすい環境を心がけ、日々の職員の提案などには、職員が前向きに取り組めるよう話し合っている。職員からの物品購入の希望や行事の提案などを実施している。	コロナ禍にあり、集合しての会議開催が難しかったと思われませんが、限定した常勤者が参加する社員会議のみならず、ユニット内で話し合う機会を設けることを期待します。
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者が直接個々との面談などは殆ど行えておりませんが、管理者が話す機会を多く持っております。給与水準という部分では、資格や勤続年数が基本となっております	事業所では、就業規則に基づいた業務運営を行っている。昇給などは、資格や勤続年数が基本となっており、管理者は職員の努力や成果を上長に報告している。管理者は、職員の心身の状況を日々の会話などで把握している。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナ禍の為、外部の研修は殆ど参加していません。今年度は1名の職員が、介護福祉士修得の為の研修に参加し、受験しています。	法定研修を主としたテーマの「令和4年度勉強会予定表」に基づき研修を実施している。介護福祉士の研修費用は法人が負担している。初任者研修の受講料は初年度のみ法人が負担し、出勤扱いで、交通費の支援も得られる。外部研修を受講した職員は報告書を作成し、職員間で回覧して内容を共有している。新人研修は経験などを考慮して、各々に合うような勤務体制にして個別に指導している。	

14		<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>ネットワーク作りという部分では、グループホーム連絡会への参加や地域包括開催の高齢者福祉入居施設連絡会等で意見交換をしております。</p>		
----	--	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設の入所前は、基本のご利用者様に中の雰囲気を感じて頂き、スムーズに入所出来る様に短期利用から開始したり、配慮しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の際に、ご家族様に施設での様に過ごして欲しいか、不安な事がないか伺うように心がけております。また、施設入所が不安な方などで、短期利用から始められた方も多くおります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者を中心に先ず、ご本人様に慣れて頂く様なケアを職員間に徹底させています。また医療との連携など、今までの診療が途切れない様にも努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は行って頂き、出来ない事をお手伝いさせて頂くという事を心がけております。ご利用者様のお手伝いも多くの方が出来る事を行って下さいます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙や状態が優れない時などの連絡を通して情報の共有に努めております。今年度は、11月から12月に制限付きではありますが、対面での面会も再開させて頂きました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人宛に来た手紙などは、本人の側で読み上げたりしています。また、電話の利用についても職員が手伝いをしたりしています。定期的にオンライン面会を楽しまれる方もおられます。	入居時のアセスメントや家族からの情報で、利用者の生活歴や馴染みの関係を把握している。コロナ禍で、友人などの訪問はないが、電話や手紙の取次ぎ支援を行っている。医師の許可の下、喫煙や飲酒を嗜む方のほか、毎日、珈琲を愛飲する方や新聞を読む方など、利用者個々が従前の生活習慣を継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お手伝いやレクを通じてご利用者様同士の関係を支援しておりますが、一部の方以外は関係構築が不十分な方も多くおられます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから、ご連絡する事は殆どありませんが、ご相談などがある際は確りと対応させて頂いております。退所後の入居施設の申し込みのお手伝いなどをさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当職員と計画作成担当者を中心にアセスメントを行い、意向の把握に努めています。	アセスメントや日頃の会話の他、居室担当者が定期的に利用者の意向を聞いている。意思疎通が困難な利用者には、行動や表情から推し量るほか、以前関わっていた方や家族から得た情報を基に検討し、支援につなげている。把握した情報は、「連絡ノート」で共有し、ケアに活かしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報収集にて把握に努めております。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当職員が毎月、個人担当シートを基に状況の把握に努めております。			
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様、ご家族様、担当職員、計画作成担当者を中心となっていて行っておりますが、一部のご家族様とは書類でのやりとりとなる事もございます。	アセスメントと毎月居室担当者が行うモニタリングを基に記した「個人担当記録」で利用者の状況を把握している。計画作成担当者などと話し合い、利用者・家族の要望と医療関係者の意見も反映して介護計画を作成している。短期目標は6か月、長期目標は1年ごとに見直し、状態に変化があればその都度見直している。		

27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報の共有に関しては、連絡ノート・申し送り等で行えていると思います。		
----	---	------------------------------------	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護認定の更新手続きや特養の申し込みの相談、支援を行っております。また、協力病院以外の通院なども、出来る範囲で支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍にて、交流は少なかったですが、施設の駐車スペースに、町内会の獅子舞や近隣園児が踊りなどを披露して下さいました。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当事業所の協力病院が中心ですが、協力病院外はご本人様・ご家族様と相談して決めております。	協力医療機関の精神科医が月2回来所し、利用者全員を診察している。週1回、健康観察のため、看護師が来所している。毎日、協力医と看護師宛に「身体精神状況報告書」をFAX送信して、適切な対応が得られるようにしている。月2回、歯科医が来所し希望者の治療などを行っている。また、月1回、歯科衛生士が来所し、口腔ケアの指導をしている。外部の専門医の受診には、概ね職員が同行している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護の他に、身体精神状況報告書というものを毎日診療所の看護師・医師向けにFAXしており、情報の共有とより適切な対応を受けられる様に支援しております。		

32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>退院に必要な病状説明などを、ご家族様と一緒に伺い、早期の退院が可能となる様に努めております。</p>		
----	--	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化した場合の指針を提示し、ご理解を頂いております。またこの際に、終末期に向けた意向確認も取るようにしています。	契約時に「入居者の重度化した場合における対応に係る指針」で事業所の方針を家族などに説明し同意を得て、急変時の意向も確認している。重度化した時は、医師等と連携し、家族の希望を再確認している。近年は病院へ移られる方が主で、今年度の看取りの実績はない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所にAEDを設置し、定期的に職員に救命講習知識を学んで頂いております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練、震災訓練を行っておりますが、コロナ禍という事もあり、地域との方との実践訓練は行えておりません。	夜間想定火災訓練や震災を想定した訓練を利用者も参加して行っている。コロナ禍で従来実施していた地域の方への避難訓練参加の要請を中断している。「非常食在庫表」で3日分の食料と飲料水その他、懐中電灯、カセットコンロ、ラジオ付き発電機などの生活備品を準備している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	身体拘束・虐待防止委員会が中心となり、不適切なケアが無い か、定期的に見直しを行っています。 実践が不十分な職員には、その都度の説明と指導を行 っております	身体拘束・虐待防止委員が、 言葉遣いなどの不適切なケア をしていないか確認し、管理 者やリーダーが指導してい る。往診の際に肌が見えるよ うな場合は、居室で対応して いる。またパソコンはパスワ ードを設定して管理するな ど、個人情報の保護やプライ バシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決 定できるように働きかけている	担当職員が定期的に意向を確認 する様にしております。希望な どがあった際は、管理者まで話 が通るようにしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひ とりのペースを大切にし、その日をどのように過ごした いか、希望にそって支援している	極力希望に沿った柔軟な対応を 心掛けていますが、受診や職員 の人員配置の都合上、希望に沿 えていない事も多くあります。 入浴などは、本人の意思を優先 しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支 援している	外出の際などは、おしゃれの支 援を心掛けているが、施設内 では基本的にその人が希望され る身嗜みを尊重しており、決ま った服になってしまう事も多 いです。		

40	18	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一部の方には台所で包丁を持って野菜切りなどのお手伝い頂いております。後片付けは極力多くの方に行って頂ける様に整えています。</p>	<p>専門業者の献立表に基づいて配送される食材を湯煎するなどして提供している。ご飯と味噌汁は職員が作っている。利用者の状況に合わせて刻み食やお粥などにも対応している。利用者は、果物の皮むきや食器洗い、テーブル消毒などを手伝っている。「おやつレク」では、おはぎや、どら焼きなどを手作りしたり、寿司の出前や弁当を購入するなど、利用者が食事を楽しめるように支援している。</p>	
----	----	---	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取記録に関しては毎日記録し、ご本人様にあった形態を提供しております。ペースト食などは市販の物を取り入れて提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助を要する方の口腔ケア確りと実施できており、一部の方は歯科衛生士の方とも連携を図っております。自立の方の確認は不十分な事もあります。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録をつけて、個々に時間や対応を検討し対応しております。	排尿確認表で排泄パターンを把握して定時誘導や、利用者の仕草などに基づく随時誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。夜間は、ポータブルトイレを使用する方がいる。改善事例には至らないが、布パンツの使用を継続できるよう、筋力維持の体操をユーチューブ動画を観ながら実施して、現在の状態を保てるようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便困に関しては、きめ細かく職員が情報を共有しているが、下剤の調整がメインになってしまっています。廊下歩行や体操なども取り入れています。		

45	20	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>基本的に入浴の曜日は設けず、行える時に声を掛け、その日の本人の気分を優先しております。ご利用者様から希望があった際は極力入浴できる様に調整しておりますが、介助が必要な方や本人の意向が聞けない方などは職員の都合で行う事もございます。</p>	<p>概ね週2回、入浴している。希望により、週に4回程度、入浴する方がいる。入浴を好まない方は本人の気持ちを優先し、声をかける職員を替えるなどして、入浴を促している。菖蒲湯や柚子湯、入浴剤の香りを楽しむ方や、一人で時間を気にせず入浴を楽しむ方もいる。</p>	
----	----	--	--	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の意向や疲労感に注意し、静養を促したりしております。また、夜間帯なども眠れない方には、リビングで個別に対応したりしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の種類や目的などは確りと確認し、支援しているが薬の副作用という点では全ての薬について把握しているわけではありません。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝いなど行える方には行って頂いております。気分転換に関しては、行事が中心となっております。施設内レクに関しても歌や塗り絵、体操など個々の好きなものに参加されております。嗜好品は個別に楽しまれております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望という点では、実施出来ない事が多いとおもいます。コロナ禍もあり、希望される物があつた際は、職員が購入しております。	コロナ禍で法人が遠出の外出を禁止しており、天気の良い日には、事業所の周辺を散歩している。雨上がりに急遽、車を利用し、桜の花見に出かけた。外出が思うようにできない代わりに歌や体操などの室内レクリエーションを積極的にを行い、楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方ですが、毎月授受を交わし、現金を個人で管理されている方もおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様から電話の希望があった際は、掛けられる様に支援しております。手紙に関しては、書く事は少ないですが、届いた手紙を側で読み聞かせております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	殆どの部分に施錠箇所が無く、どこでも自由に出入り出来る様になっております。玄関や窓は防犯の観点からストッパーなどを使用させて頂いております。	日中は小窓を開けて換気し、エアコンや加湿器を調整して温湿度管理をしている。調理の作業や臭いが五感の刺激になっている。リビングの壁に利用者と職員が作成した手作りの桜の花びらを飾り付けるなどして季節を感じられるようにしている。転倒防止などに備え動線を確保している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの座席等は、互いが不快にならない様に気を遣っております。また、ソファを好まれたり、テーブルを好まれる方など各々好きな場所で過ごされております。共用部分で一人になる所はございません。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に、処遇上危険と判断しない物は何でも持ち込んで頂いております。皆様、今までの馴染みのものなどを持ち込まれております。	居室は、換気扇、クローゼット、照明器具が備え付けられている。防災カーテン、冷蔵庫、テレビ、ベッド、タンス、時計、仏壇、写真などの馴染みの品や思い出の品が持ち込まれ、個性のある居室になっている。	

55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>殆どの部分がバリアフリーになっており、各々が自由に生活をしております。転倒などの事故予防の為、リビングなどの空間に障害となる物を少なくしたりしています。</p>		
----	--	---	---	--	--

事業所名	高齢者グループホーム かわしまの里
ユニット名	芭蕉

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「慣れ親しんだ地域で、家族や地域との交流を通しながら、家庭的な雰囲気ですっきり、一緒に楽しく過ごして頂く」という理念を中心にご利用様のペースで生活が行える様意識していますが、コロナ禍で家族や地域との交流は少ないのが現状です。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の方が、敬老のお祝いを持って来て下さったり、近隣保育園の子供達が駐車場で季節の唄を披露して下さいました。また正月には駐車場で町内獅子舞が来所して下さいました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ前は、アルツハイマーデイや物忘れ確認テストなど、啓発活動を行っていましたが、ここ数年はあまり行えておりません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2か月に1度、書面での推進会議を実施しておりますが、コロナ禍での施設生活の現状の報告が中心となっております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	コロナ禍の為あまり行えていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除の理念を掲げ、委員会での内容を活用しながら、身体拘束ゼロへ取り組んでおります。玄関や居室窓などは、防犯の観点から、ご家族様にご理解を頂きながら、施錠を行っております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会を通じて、職員個々に不適切なケアが無いか、定期的に振り返って頂いています。ニュースなどで取り上げられるものに関しても周知をし、随時学ぶ機会を設けています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	単身の方でも、後見人が付く様に行政の方と相談しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には、基本的に施設見学をして頂き、サービスや料金についての説明をさせて頂いております。その際に、不安な点や分からない事を必ず伺い、その上で契約を通し、再度丁寧に説明する事を心掛けております。契約書・重要事項説明書の雛形も窓口配置し、自由に目を通せる様にしております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月に1度担当職員がご利用者様本人に意向を伺う様にしております。ご意見箱の設置を行っておりますが、活かさきれていない現状があります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者からの意見や情報の発信は多くありますが、職員からの提案という部分では日々の申し送り時などが中心となっております。ただし、日常的に意見や相談しやすい環境は設けております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者が直接個々との面談などは殆ど行えておりませんが、管理者が話す機会を多く持っております。給与水準という部分では、資格や勤続年数が基本となっております		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナ禍の為、外部の研修は殆ど参加していません。今年度は1名の職員が、介護福祉士修得の為の研修に参加し、受験しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ネットワーク作りという部分では、グループホーム連絡会への参加や地域包括開催の高齢者福祉入居施設連絡会等で意見交換をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設の入所前は、基本のご利用者様に中の雰囲気を感じて頂き、スムーズに入所出来る様に短期利用から開始したり、配慮しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の際に、ご家族様に施設での様に過ごして欲しいか、不安な事がないか伺うように心がけております。また、施設入所が不安な方などで、短期利用から始められた方も多くおります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者を中心に先ず、ご本人様に慣れて頂く様なケアを職員間に徹底させています。また医療との連携など、今までの診療が途切れない様にも努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は行って頂き、出来ない事をお手伝いさせて頂くという事を心がけております。ご利用者様のお手伝いも多くの方が出来る事を行って下さいます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙や状態が優れない時などの連絡を通して情報の共有に努めております。今年度は、11月から12月に制限付きではありますが、対面での面会も再開させて頂きました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人宛に来た手紙などは、本人の側で読み上げたりしています。また、電話の利用に関しても職員が手伝いをしたりしています。定期的にオンライン面会を楽しまれる方もおられます。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お手伝いやレクを通じてご利用者様同士の関係を支援しておりますが、一部の方以外は関係構築が不十分な方も多くおられます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから、ご連絡する事は殆どありませんが、ご相談などがある際は確りと対応させて頂いております。退所後の入居施設の申し込みのお手伝いなどをさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当職員と計画作成担当者を中心にアセスメントを行い、意向の把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報収集にて把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当職員が毎月、個人担当シートを基に状況の把握に努めております。		
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様、ご家族様、担当職員、計画作成担当者が中心となって行っておりますが、一部のご家族様とは書類でのやりとりとなる事もございます。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報の共有に関しては、連絡ノート・申し送り等で行えていると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護認定の更新手続きや特養の申し込みの相談、支援を行っております。また、協力病院以外の通院なども、出来る範囲で支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍にて、交流は少なかったですが、施設の駐車スペースに、町内会の獅子舞や近隣園児が踊りなどを披露して下さいました。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当事業所の協力病院が中心ですが、協力病院外はご本人様・ご家族様と相談して決めております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護の他に、身体精神状況報告書というものを毎日診療所の看護師・医師向けにFAXしており、情報の共有とより適切な対応を受けられる様に支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院に必要な病状説明などを、ご家族様と一緒に伺い、早期の退院が可能となる様に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化した場合の指針を提示し、ご理解を頂いております。またこの際に、終末期に向けた意向確認も取るようにしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所にAEDを設置し、定期的に職員に救命講習知識を学んで頂いております。	/	/
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練、震災訓練を行っておりますが、コロナ禍という事もあり、地域との方との実践訓練は行えておりません。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	身体拘束・虐待防止委員会が中心となり、不適切なケアが無い か、定期的に見直しを行っています。 実践が不十分な職員には、その都度の説明と指導を行 っております		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	担当職員が定期的に意向を確認する様 にしております。希望などがあつた際は、 管理者まで話が通るようにしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごした いか、希望にそって支援している	極力希望に沿った柔軟な対応を心掛けて いますが、受診や職員の人員配置の都合上、 希望に沿えていない事も多くあります。 入浴などは、本人の意思を優先しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出の際などは、おしゃれの支援を心掛 けているが、施設内では基本的にその人 が希望される身嗜みを尊重しており、決 まった服になってしまう事も多いです。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしなが ら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一部の方には台所で包丁を持って野菜切 りなどのお手伝い頂いております。後片 付けは極力多くの方に行って頂ける様 に整えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取記録に関しては毎日記録し、ご本人様にあった形態を提供しております。ペースト食などは市販の物を取り入れて提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助を要する方の口腔ケア確りと実施できており、一部の方は歯科衛生士の方とも連携を図っております。自立の方の確認は不十分な事もあります。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録をつけて、個々に時間や対応を検討し対応しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便困に関しては、きめ細かく職員が情報を共有しているが、下剤の調整がメインになってしまっています。廊下歩行や体操なども取り入れています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に入浴の曜日は設けず、行える時に声を掛け、その日の本人の気分を優先しております。ご利用者様から希望があった際は極力入浴できる様に調整しておりますが、介助が必要な方や本人の意向が聞けない方などは職員の都合で行う事もございます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の意向や疲労感に注意し、静養を促したりしております。また、夜間帯なども眠れない方には、リビングで個別に対応したりしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の種類や目的などは確りと確認し、支援しているが薬の副作用という点では全ての薬について把握しているわけではありません。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝いなど行える方には行って頂いております。気分転換に関しては、行事が中心となっております。施設内レクに関しても歌や塗り絵、体操など個々の好きなものに参加されております。嗜好品は個別に楽しまれております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望という点では、実施出来ない事が多いとおもいます。コロナ禍もあり、希望される物があつた際は、職員が購入しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方ですが、毎月授受を交わし、現金を個人で管理されている方もおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様から電話の希望があった際は、掛けられる様に支援しております。手紙に関しては、書く事は少ないですが、届いた手紙を側で読み聞かせております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	殆どの部分に施錠箇所が無く、どこでも自由に出入り出来る様になっております。玄関や窓は防犯の観点からストッパーなどを使用させて頂いております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの座席等は、互いが不快にならない様に気を遣っております。また、ソファを好まれたり、テーブルを好まれる方など各々好きな場所で過ごされております。共用部分で一人になる所はございません。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に、処遇上危険と判断しない物は何でも持ち込んで頂いております。皆様、今までの馴染みのものなどを持ち込まれております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	殆どの部分がバリアフリーになっており、各々が自由に生活しております。転倒などの事故予防の為、リビングなどの空間に障害となる物を少なくしたりしています。		

目標達成計画

事業所名 かわしまの里作成日 令和 5年 6月 23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	運営に関する職員意見の反映	定期的なユニット会議を実施し、職員相互に意見を出し合い情報を共有していく。	少なくとも年に3回は、ユニットミーティングを開催する。	R6.9 今年度1回目の会議実施予定
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。